

# 浴室音響システム「アクアソニックR」 AQSR

## 取扱説明書

保証書付

このたびは、浴室音響システム「アクアソニックR」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

■この説明書は、アクアソニックRの取り扱いおよびお手入れ方法について説明してあります。

ご使用前に、説明書をよくお読みください。

■商品を正しくお使いいただくために、この説明書は常にお読みいただけるように、身近に保管してください。

■この説明書の27ページの保証書に、「販売店名、お引渡し日」などの記入がされているか、必ず確かめて大切に保管してください。

■ご使用いただいているお客様が代わられる場合は、取扱説明書と保証書を確実にお渡しください。

■この商品は、家庭での使用を基準にしたものです。業務用でのご使用は避けてください。

# 目次


1. 安全のために必ずお守りください	3
2. 各部のなまえとはたらき	4
3. 注意とお願い	7
4. 接続のしかた	8
5. リモコン信号の学習記憶	10
6. リモコンの操作方法	17
7. お手入れ方法	20
お手入れの際の注意	21
8. 異常かなと思ったら	22
9. 故障診断アラーム一覧表	23
10. 保証とアフターサービス	24
修理を依頼される時	24
補修用性能部品の最低保有期間	24
修理の際の連絡先	24
修理を依頼される時に、ご連絡いただきたい内容	24
11. 主な仕様	25
12. アクアソニックR電気結線図	26
保証書	27


# 1. 安全のために必ずお守りください

◎ ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。


◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

◎ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

 **警告** : この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危険の程度」をいう。


 **注意** : この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定される、または物的損害の発生が想定される危険・損害の程度」をいう。

◎ お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

 : 製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。

 : 製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

## **警告**

 煙が出ている、変なおいがする、異常な音がするなど、異常のあるときは直ちにブレーカを切り、販売店またはお客様相談窓口にて修理を依頼する。

異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。


 コントロールアンプのフタは絶対に開けない。

内部には電圧の高い部分があり感電の原因になります。内部の点検、整備、修理は必ず販売店またはお客様相談窓口にご依頼ください。

 電源電圧〈100V〉以外で使用しない。

火災、感電の原因になります。

## **注意**

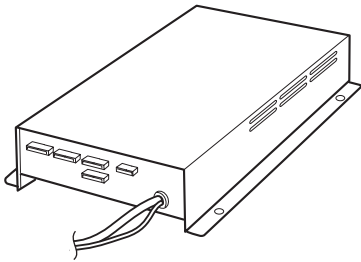
 オーディオ機器を本機に接続する場合は、オーディオ機器の取扱説明書でオーディオ信号の出力端子を確認し、本説明書にしたがって接続する。

 接続は指定のコードで接続する。

指定のコード以外で接続すると故障の原因となることがあります。

## 2. 各部のなまえとはたらき

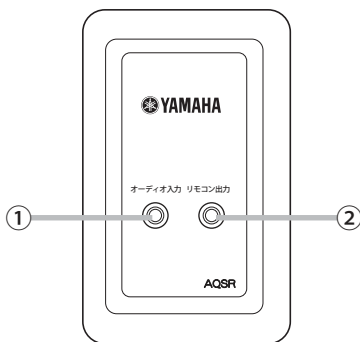
### 1 コントロールアンプ



浴室の天井裏に設置してあります。

オーディオ機器からのオーディオ信号を増幅し、システムバスに設置したスピーカーに送ります。また、オーディオ機器も含めたシステム全体のコントロールを行います。

### 2 入出力ボックス



脱衣室の壁面に埋め込んであります。

オーディオ機器からのオーディオ信号をコントロールアンプに取り込み、浴室リモコンからの赤外線操作信号をここからオーディオ機器に発信します。

オプションでもう一箇所増設できます

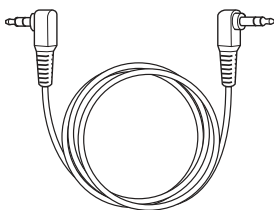
#### ① オーディオ入力端子

付属のオーディオ入力コードでラジカセなどのオーディオ機器と接続します。

#### ② リモコン出力端子

付属のリモコン出力コードを接続します。浴室リモコンでラジカセなどのオーディオ機器をリモコン操作できます。

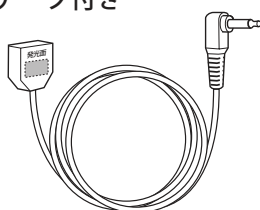
### 3 オーディオ入力コード (3m)



お手持ちのオーディオ機器のオーディオ信号を、アクアソニックRに入力するためのコードです。

### 4 リモコン出力コード (3m)

両面テープ付き

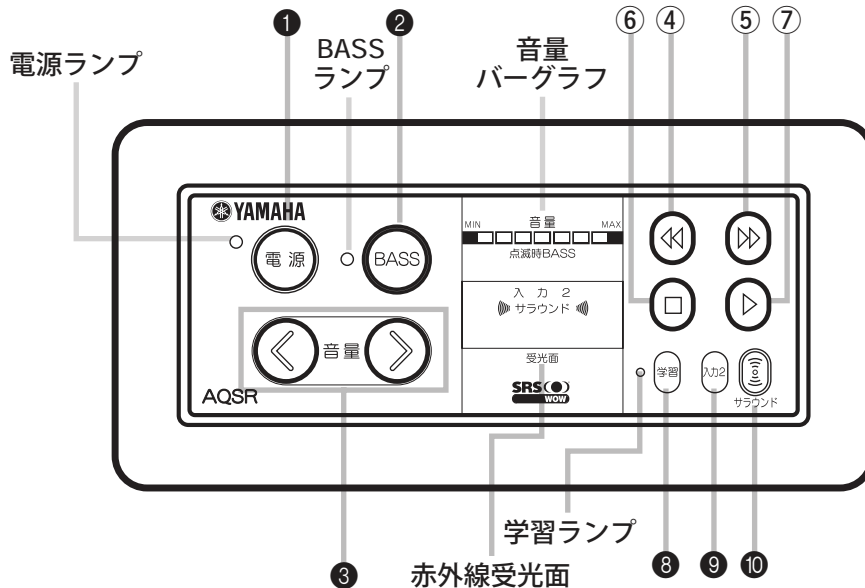


浴室リモコンからの赤外線操作信号を、お手持ちのオーディオ機器に送るためのコードです。

## 5 浴室リモコン

システムバスの壁に設置してあります。

工場出荷時から動作が決められている7つのスイッチ(①～③、⑧～⑩)と、外部オーディオ機器のリモコン信号を学習記憶させることにより初めて動作可能になる4つのスイッチ(④～⑦)があります。



### ① 電源スイッチ

アクアソニックRの電源スイッチです。電源を入れると、電源ランプが点灯します。

### ② BASSスイッチ

ウーファー(低音域)の音量を調整するモードに切り替えるスイッチです。

BASSモードにすると、BASSランプが点灯し音量バーグラフは点滅になります。

※学習記憶用の4つのスイッチのシフトモードも兼ねています。詳しくは、10ページ「リモコン信号の学習記憶」を参照してください。

### ③ 音量スイッチ

通常は総音量、BASSモード時(BASSランプ点灯)はウーファー(低音域)の音量を調節できます。

◀と▶を同時に押すとバランスモードになり、左右スピーカーの音量バランスを調節できるようになります。

## 2. 各部のなまえとはたらき

以下のスイッチは学習記憶用スイッチです。設定例を参考に学習記憶させてください。  
(12ページ参照)

### ④ スイッチ(学習記憶用)

演奏曲が1曲戻ります。(カセットの場合は早戻し)

### ⑤ スイッチ(学習記憶用)

演奏曲が1曲進みます。(カセットの場合は早送り)




### ⑥ (停止)スイッチ(学習記憶用)

CD、MD、カセットテープなどの動作を停止します。

### ⑦ (再生)スイッチ(学習記憶用)

CD、MD、カセットテープなどを再生します。

※オーディオ機器によっては、もう一度押すと一時停止になるものもあります。

※ 入力切り替え( スイッチ)により入力別にそれぞれ違った信号を4個、計8個まで学習記憶できます。(例：入力1を選択時の と入力2を選択時の に別の信号を記憶可能)

入力2で記憶させた信号は、入力2のときか入力が1でBASSモードのときにしかオーディオ機器は操作できません。

### ⑧ スイッチ

2秒以上連続して押すと学習記憶モードに入ります。

### ⑨ スイッチ

通常のオーディオ入力1とオプションの入力2を切り替えます。

入力2になると、リモコン中央部に“入力2”の表示が点灯します。

※オプションの追加入出力ボックスにオーディオ機器を接続しない状態で入力2にしても何も聞こえません。

### ⑩ スイッチ

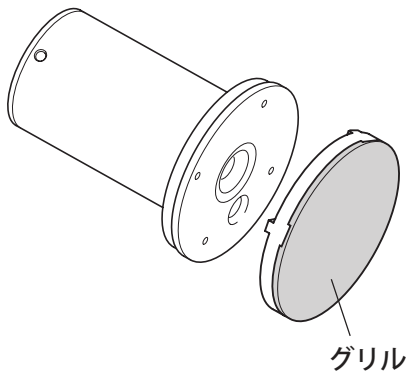
天井スピーカー2個によるサラウンド機能をONします。

サラウンド機能がONになると、リモコン中央部に サラウンド  表示が点灯します。

#### サラウンドとは

左右一組のスピーカーで通常のステレオ再生時以上の臨場感を得る為の音場拡大技術です。包み込むように立体的な音場を再現します。

### 6 スピーカー



浴室天井の左右に2個取り付けてあり、防湿・防水構造になっています。

グリルは左に回転させると外れます。(21ページ参照)

## 3. 注意とお願い

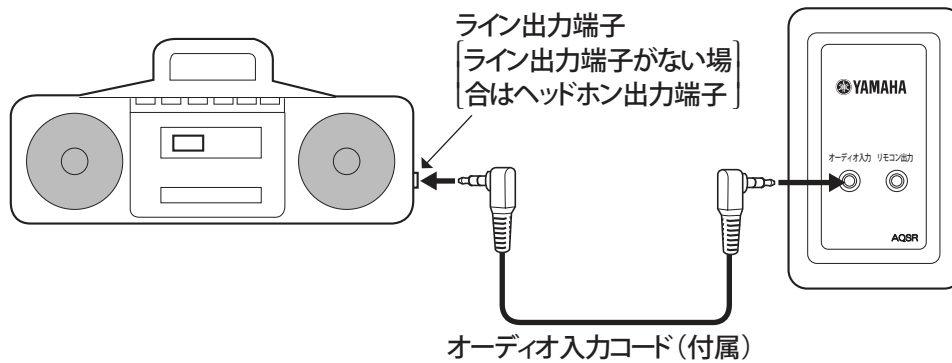
- ❗ 本システム単独では音楽が聴けません。お手持ちのオーディオ機器の接続が必要です。
- ❗ オーディオ機器を浴室リモコンで操作する場合は、必ず赤外線リモコンで操作可能なオーディオ機器をお使いください。  
携帯型CDプレーヤーなど赤外線リモコンが使用できないものを接続した場合は、浴室リモコンからオーディオ機器を操作できません(音量の操作のみ可能です)。
- ❗ オーディオ機器の接続および取り外しの際は、オーディオ機器およびアクアソニックRの電源を切ってから行ってください。故障の原因になります。
- ❗ 学習時にオーディオ機器のリモコンを濡らさないでください。故障の原因になります。
- ❗ ご使用後は必ず電源を切ってください。

#### 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。夜間のご使用には特に気を配りましょう。ご使用中は窓を閉めたり、適当な音量を心がけるなど、お互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。

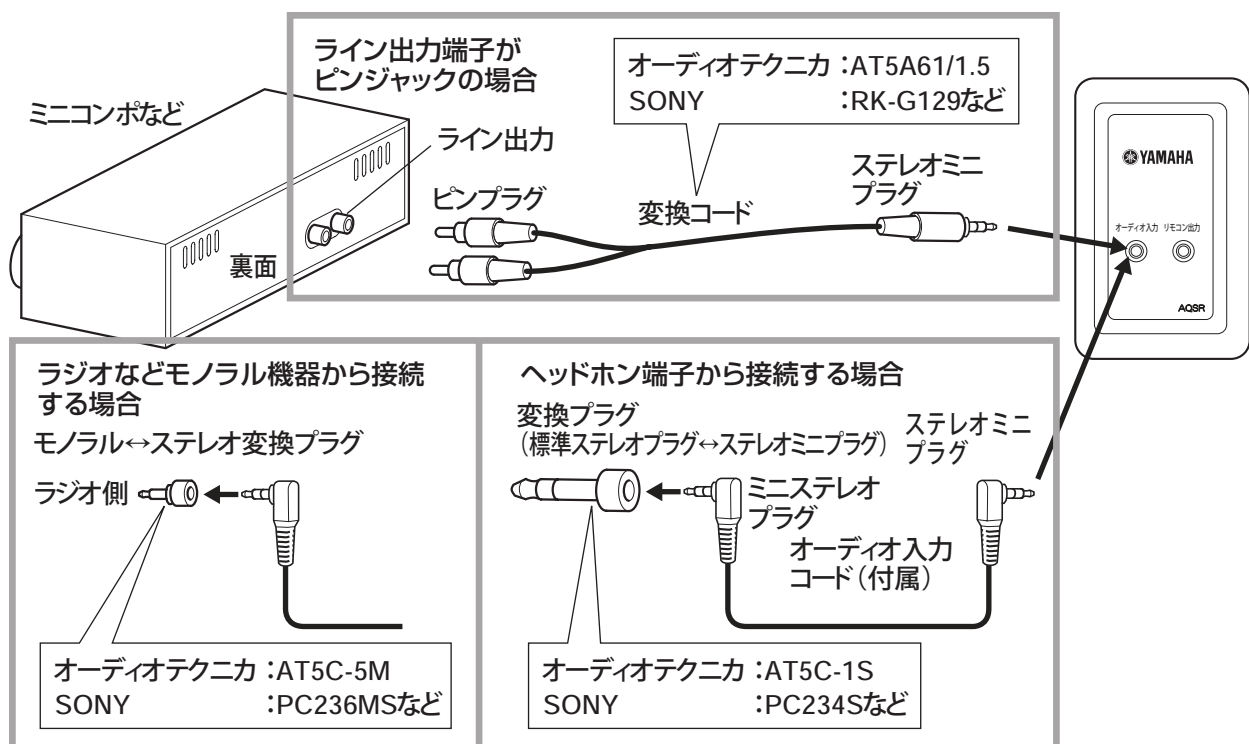
# 4. 接続のしかた

- 1 オーディオ機器およびアクアソニックRの電源を切っておきます。
- 2 オーディオ機器のオーディオ出力端子と入出力ボックスのオーディオ入力端子を、付属のオーディオ入力コードで接続します。



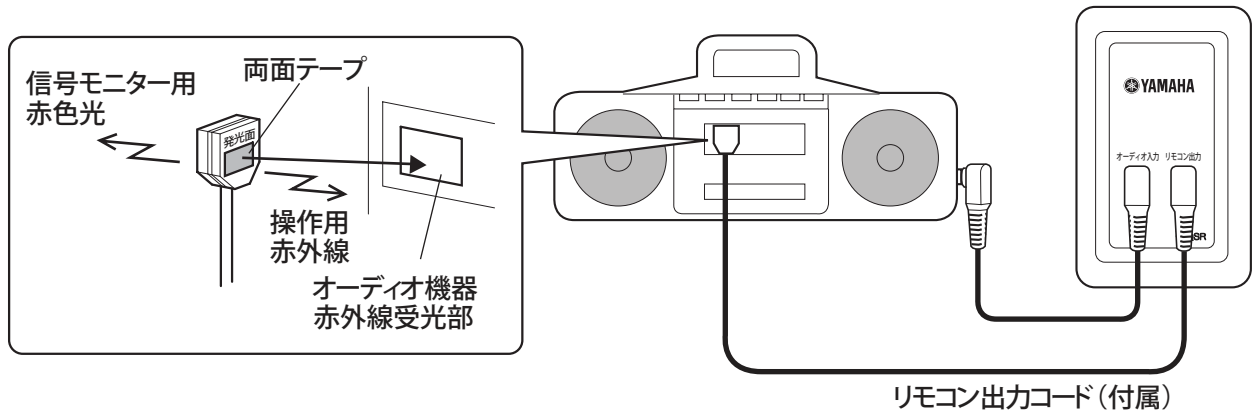
- ライン出力端子がある機器はライン出力端子に接続してください。
- ライン出力端子がない機器はヘッドホン端子またはイヤホン端子から接続し、オーディオ機器のボリュームを中間より大きめの状態にしてください。  
オーディオ機器の音量が小さすぎると雑音が多くなることがあり、オーディオ機器の音量が大きすぎると音が歪むことがあります。
- ライン出力端子の位置は、各オーディオ機器の取扱説明書で確認してください。

※ ライン出力端子がステレオミニジャック以外の場合は、下記のような変換コードや変換プラグをオーディオ店などでご購入ください。

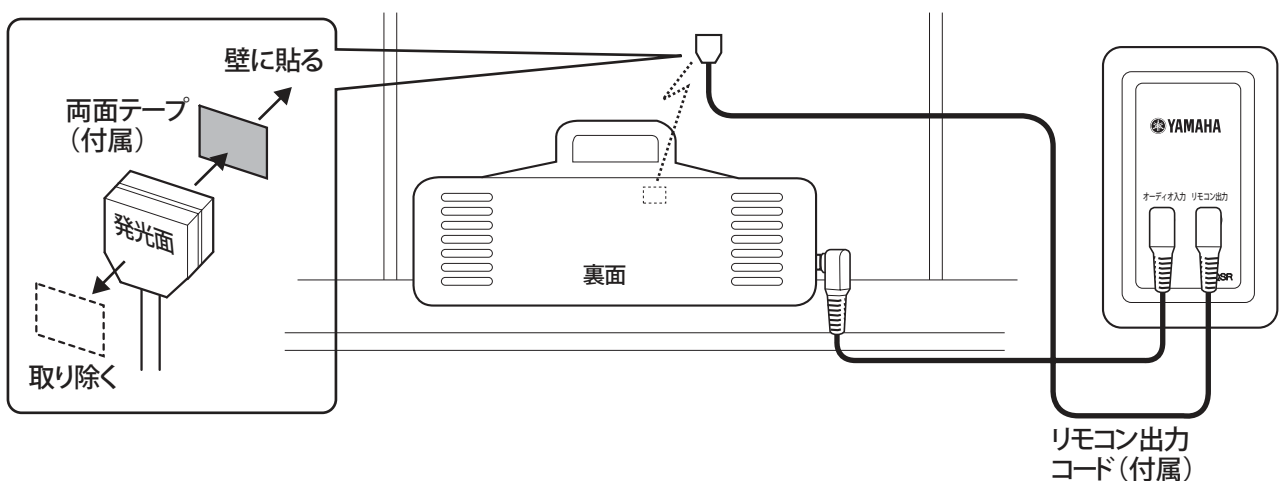




- 3** 入出力ボックスのリモコン出力端子にリモコン出力コードのプラグを差し込み、先端部の赤外線発光面がオーディオ機器の赤外線受光部に向くように、付属の両面テープで貼り付けます。



- 赤外線発光面には「発光面」の刻印があります。  
信号モニター用の赤色ランプとは向きが逆ですので注意してください。
- 赤外線受光部の位置はオーディオ機器の取扱説明書で確認してください。  
センサーやリモート、IRと表示されていることがあります。
- 直接貼り付ける以外にもオーディオ機器近くの壁面に発光部を取り付け、そこから赤外線が届く範囲(最大1m程度)にオーディオ機器を置く方法もあります。  
この場合も必ず発光面がオーディオ機器に向くようにしてください。  
リモコン出力コード先端部を壁に貼り付ける場合は、発光面の両面テープを取り除き、付属の両面テープを発光面と逆の面に貼ってください。



## 5. リモコン信号の学習記憶

オーディオ機器のリモコンスイッチを、浴室リモコンの各スイッチに学習記憶させます。  
(オーディオ機器に、(財)家電製品協会の推奨方式の赤外線リモコンがある場合のみ)

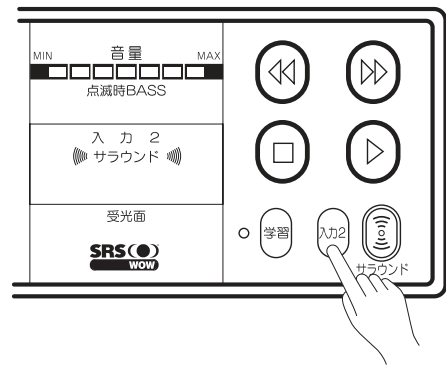
- アクアソニックRは入力毎に4種類、最大8種類の赤外線信号を学習記憶可能です。

### 1) 入出力ボックスにオーディオ機器を接続し4種類のスイッチを学習記憶する場合

- オーディオ機器の赤外線リモコンをご用意ください。

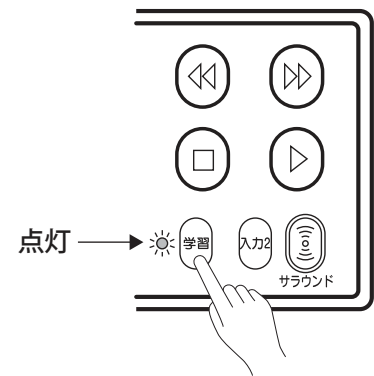
1 浴室リモコンの(電源)スイッチを押して、アクアソニックRの電源を入れます。

2 入力1(標準)になっていることを確認します。もしリモコン中央部に入力2と表示されている場合は(入力2)スイッチを押して入力1にします(中央部の表示は消えます)。



3 (学習)スイッチを2秒以上押して学習記憶モードに切り替えます。

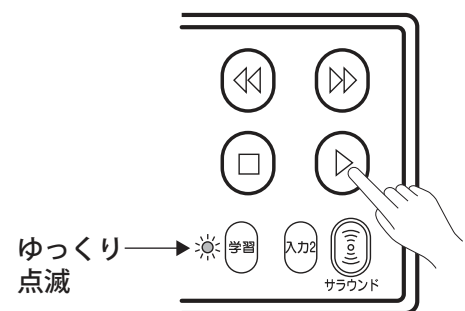
→ピッとブザーが鳴り、学習ランプが点灯します。



4 浴室リモコンの学習記憶先のスイッチを選んで押します。

→学習ランプがゆっくり点滅します。

※ 4の操作の後、30秒以内に5の操作をしないと学習モードは解除されてしまいます。学習モードが解除された場合は、再度3～4の操作を行ってください。

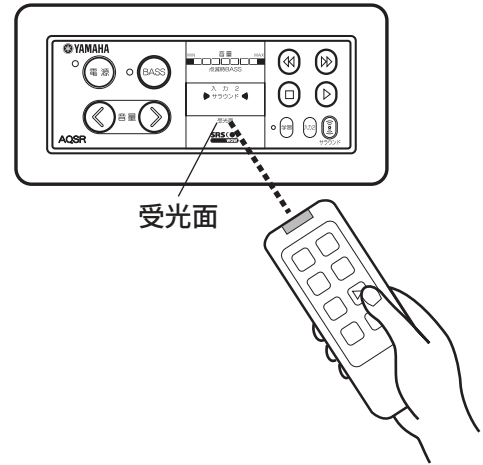


5 オーディオ機器リモコンの発光部を浴室リモコンの赤外線受光面に向け、オーディオ機器リモコンの学習記憶元のスイッチを押します。

➔ ピーとブザーが鳴り、学習ランプが消えれば記憶完了です。

正常に記憶されなかったときは、ブザーが早くピピピと鳴った後学習ランプが消えます。もう一度3~5の手順で記憶させなおしてください。

正常に記憶されなかった場合は、前回記憶させた内容がそのまま維持されます。



**ポイント**

- ・オーディオ機器のリモコンは、できるだけまっすぐ浴室リモコンに向けてください。

6 以下同様に、3~5の手順で残りの3つのスイッチを記憶させてください。

例)浴室リモコンの(▶▶)にオーディオ機器の(▶▶)(早送り)を記憶させる場合

- ①浴室リモコンの(学習)スイッチを2秒以上押して学習モードに切り替える。
- ②浴室リモコンの(▶▶)を押す。
- ③受光面に向けオーディオリモコンの(▶▶)を押す。

**学習記憶(割り当て)の例**

入力切り替え	浴室リモコン側 学習記憶先(割り当て先)	割り当て	オーディオリモコン側 学習記憶元(割り当てたい機能)
入力1	(◀◀)	←	(1曲戻しまたは早戻し)
	(▶▶)	←	(1曲送りまたは早送り)
	(◻)	←	(停止または電源)
	(▶)	←	(再生または一時停止)

**操作例**

音楽を聞いていて1曲早送りする場合

- ・アクアソニックR浴室リモコンの(▶▶)スイッチを押します。

## 5. リモコン信号の学習記憶

### 2) 入出力ボックスにオーディオ機器を接続し5種類以上(8種類まで)のスイッチを学習記憶する場合

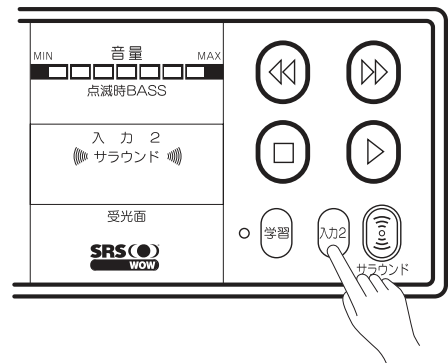
\*1)の基本機能に加え接続したラジカセやミニコンポなどのラジオを聞いたりCDチェンジャー機能を使ったりする場合の方法です。

入出力ボックスが1個のみで、それに接続するオーディオ機器のスイッチを5種類以上記憶させたい場合は、入力を切り替えることで1つの学習スイッチに2種類の信号を学習させ、出力することができます。

●オーディオ機器のリモコンをご用意ください。

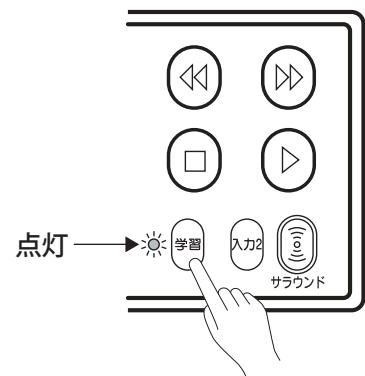
1 浴室リモコンの(電源)スイッチを押して、アクアソニックRの電源を入れます。

2 入力1(標準)になっていることを確認します。もしリモコン中央部に入力2が表示されている場合は(入力2)スイッチを押して入力1にします。



3 (学習)スイッチを2秒以上押して学習記憶モードに切り替えます。

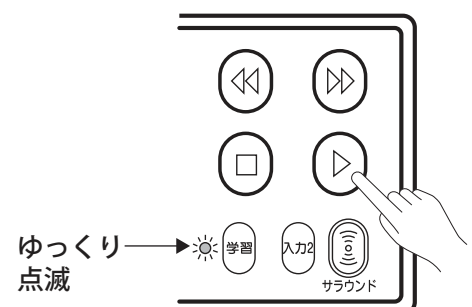
→ピッとブザーが鳴り、学習ランプが点灯します。



4 浴室リモコンの学習記憶先のスイッチを選んで押します。

→学習ランプがゆっくり点滅します。

※ 4の操作の後、30秒以内に5の操作をしないと学習モードは解除されてしまいます。学習モードが解除された場合は、再度3~4の操作を行ってください。

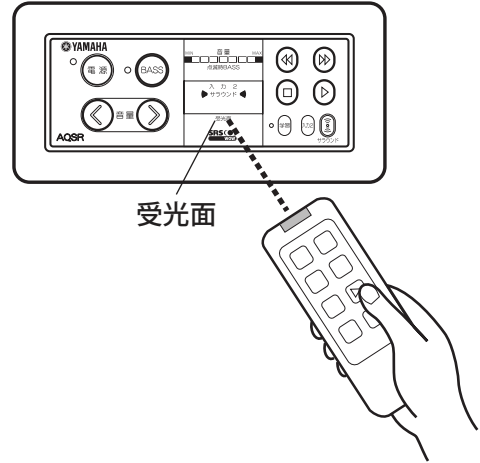


5 オーディオ機器リモコンの発光部を浴室リモコンの赤外線受光面に向け、オーディオ機器リモコンの学習記憶元のスイッチを押します。

➔ ピーとブザーが鳴り、学習ランプが消えれば記憶完了です。

正常に記憶されなかったときは、ブザーが早くピピピと鳴った後学習ランプが消えます。もう一度3~5の手順で記憶させなおしてください。

正常に記憶されなかった場合は、前回記憶させた内容がそのまま維持されます。



6 以下同様に、3~5の手順で残りの3つのスイッチを記憶させてください。

例)浴室リモコンの(⏮)にオーディオ機器の(⏮) (早送り)を記憶させる場合

①浴室リモコンの(学習)スイッチを2秒以上押して学習モードに切り替える。

②浴室リモコンの(⏮)を押す。

③受光面に向けオーディオリモコンの(⏮)を押す。

7 (入力2)スイッチを押し、入力2の記憶モードにします。

リモコン中央部に“入力2”の表示が出ます。

8 3~5と同様な方法で前回と違ったスイッチをさらに4種類学習させます。

学習記憶(割り当て)の例:オーディオ機器の信号を8種類記憶する場合

入力切り替え	浴室リモコン側 学習記憶先(割り当て先)	割り当て	オーディオリモコン側 学習記憶元(割り当てたい機能)
入力1	(⏮)	←	(⏮) (1曲戻しまたは早戻し)
	(⏭)	←	(⏭) (1曲送りまたは早送り)
	(□)	←	(□) (停止)
	(▶)	←	(▶) (再生または一時停止)
入力2	(⏮)	←	(◀) (選局)など
	(⏭)	←	(▶) (選局)など
	(□)	←	(電源) (電源)など
	(▶)	←	(ラジオ) (ラジオ)など

## 5. リモコン信号の学習記憶

### 操作例

標準入出力ボックスにラジカセを接続しCDを聞いていて途中からラジオに変える場合

方法1：一旦スイッチで入力2にした後、を押し、もう一度スイッチを押し、また入力1に戻します。

方法2：入力1のままスイッチを押し、BASSモードにした後を押します。

### 3) オプションの入出力ボックスを取り付け、両方の入出力ボックスに異なったオーディオ機器を接続し、それぞれ操作する場合

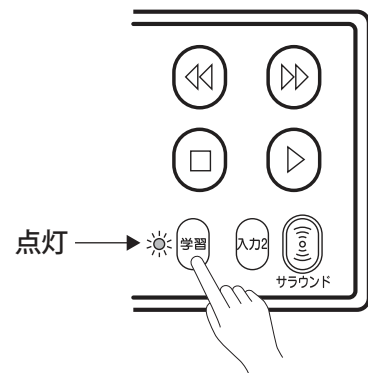
入力1と入力2にそれぞれ別のオーディオ機器を接続し、両方とも赤外線信号で操作する場合は入力1と入力2に接続しているオーディオ機器に応じた信号を学習記憶させます。

● オーディオ機器のリモコンをご用意ください。

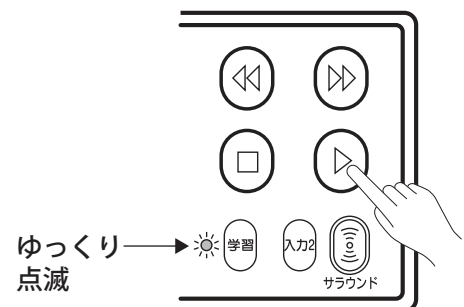
1 浴室リモコンのスイッチを押して、アクアソニックRの電源を入れます。

2 学習記憶するオーディオ機器が接続されている入力に切り替えます。

3 スイッチを2秒以上押して学習記憶モードに切り替えます。  
→ピッとブザーが鳴り、学習ランプが点灯します。



4 浴室リモコンの学習記憶先のスイッチを選んで押します。  
→学習ランプがゆっくり点滅します。  
※ 4の操作の後、30秒以内に5の操作をしないと学習モードは解除されてしまいます。学習モードが解除された場合は、再度3～4の操作を行ってください。

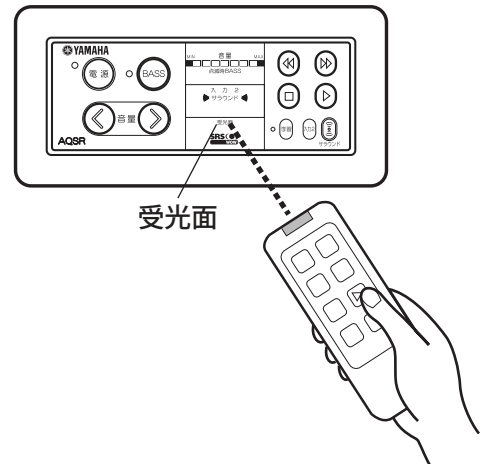


5 オーディオ機器リモコンの発光部を浴室リモコンの赤外線受光面に向け、オーディオ機器リモコンの学習記憶元のスイッチを押します。

➔ ピーとブザーが鳴り、学習ランプが消えれば記憶完了です。

正常に記憶されなかったときは、ブザーが早くピピピと鳴った後学習ランプが消えます。もう一度3~5の手順で記憶させなおしてください。

正常に記憶されなかった場合は、前回記憶させた内容がそのまま維持されます。



6 以下同様に、3~5の手順で残りの3つのスイッチを記憶させてください。

例)浴室リモコンの(⏮)にオーディオ機器の(⏮) (早送り)を記憶させる場合

①浴室リモコンの(学習)スイッチを2秒以上押し、学習モードに切り替える。

②浴室リモコンの(⏮)を押す。

③受光面に向けオーディオリモコンの(⏮)を押す。

7 (入力2)スイッチを押し、入力2の記憶モードにします。

リモコン中央部に“入力2”の表示が出ます。

8 3~5と同様な方法で前回と違ったスイッチをさらに4種類学習させます。

信号を記憶するリモコンは入力2に接続されている機器のものを使用してください。

学習記憶(割り当て)の例:入力1にCDラジカセ、入力2にCDチェンジャー付きミニコンボを接続した場合

入力切り替え	浴室リモコン側 学習記憶先(割り当て先)	割り当て	オーディオ、ミニコンボリモコン側 学習記憶元(割り当てたい機能)
入力1 (CDラジカセ)	(⏮)	←	(1曲戻しまたは早戻し)
	(⏭)	←	(1曲送りまたは早送り)
	(□)	←	(停止)
	(▶)	←	(再生または一時停止)
入力2 (ミニコンボ)	(⏮)	←	CDチェンジなど
	(⏭)	←	(1曲送りなど)
	(□)	←	(電源など)
	(▶)	←	(再生など)

## 5. リモコン信号の学習記憶

※2つの入出力ボックスからは常に同じ赤外線信号が出ます。

2つの入出力ボックスに同じメーカーのオーディオ機器を2台接続して浴室リモコンからリモコン操作をした場合、両方作動することがあります。

どちらかのオーディオ機器の電源を切っておくか、メーカーを替えてください。


### 操作例

入出力ボックス1に接続して聴いていたラジカセのCDを停止し、入出力ボックス2のミニコンポの電源を入れCDをチェンジする場合

- ・ を押した後 スイッチを押して入力2にした後、 を押して を押す。

※ オーディオ機器リモコンによっては、同じスイッチでも押し方により異なる操作を行うものがあります。(短く押したときと長く押したときで信号が違ったり、液晶表示の内容によって同じスイッチを押しても違う信号になるなど)

浴室リモコンの学習機能は1回につき1つの操作信号しか記憶できないため、このような場合はよく使う方の信号を記憶させるか、分けて記憶させてください。

例 1: を短く押したときは曲がスキップし、長く押したときは曲が早送りになるオーディオ機器リモコンの場合で、スキップの方を記憶させたいときは短く押して記憶させてください。

例 2: 液晶表示がA11(局名)のとき2を押すとA12の信号が送信され、表示がB11の時に同じく2を押すとB12の信号が送信されるリモコンの場合。

方法1: B12を記憶させたいときは、あらかじめ表示をB1にした状態で2を押して記憶させる。

方法2: プリセットスイッチがリモコンにある場合はあらかじめプリセットスイッチにB12をセットし、このプリセットスイッチを押して記憶させる。

### ■学習記憶させた内容を変えたいとき

一度記憶させた内容を変えるときは、3~5の操作を行って新しいスイッチを記憶させてください。

### ■学習記憶がうまくいかないとき

- 強い光や蛍光灯の光がなるべく浴室リモコンの赤外線受光面に当たらないようにしてください。
- オーディオ機器のリモコンの電池はなるべく新しい物を使ってください。
- オーディオ機器のリモコンを浴室リモコンの赤外線受光面にできるだけまっすぐに向けて、学習記憶操作を行ってください。

### ■停電したとき

停電しても、記憶させたりリモコン信号の内容は保持されます。

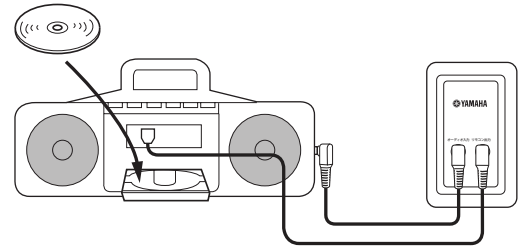
※ 何回試しても学習記憶されないときは、オーディオ機器リモコンの信号が特殊なパターンである可能性があります。

この場合は、学習記憶のスイッチ(機能)は使えません。別のオーディオ機器に替えてください。

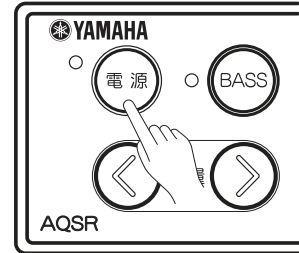


# 6. リモコンの操作方法

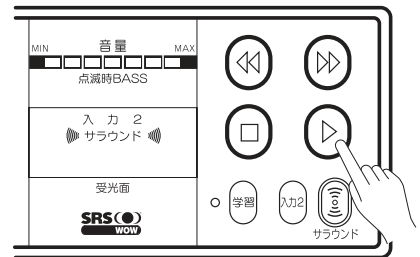
- 1 オーディオ機器の電源を入れます。
- 2 オーディオ機器にCD(MD、カセットテープ)をセットします。



- 3 浴室リモコンの電源スイッチを押します。  
→ 電源ランプと音量バーグラフが点灯し、アクアソニックRが作動状態になります。

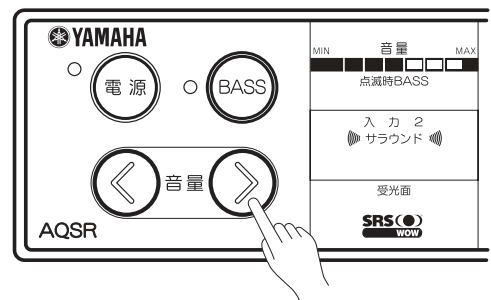


- 4 (再生)スイッチを押します。  
→ オーディオ機器が作動しスピーカーから音が出ます。  
※ オーディオ機器に赤外線リモコンがない場合は、オーディオ機器を手動で再生させてお聴きください。



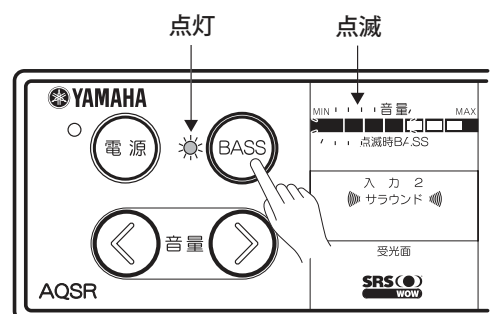
## ■ 音量調節のしかた

- ◀または▶スイッチで調節します。  
通常はリモコン中央の音量バーグラフでスピーカーとウーファーの総音量を表示します。



## ● ウーファー(低音域)の音量を調節するとき

- 1 (BASS)スイッチを押します。  
→ BASSランプが点灯して、BASSモードになります。



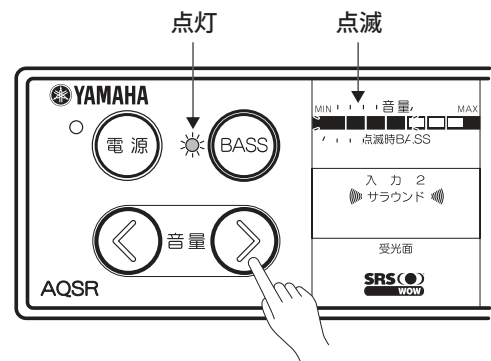
## 6. リモコンの操作方法

2 ◀ または ▶ スイッチを押してウーファアの音量を決めます。

※ BASSモード中はBASSランプが点灯し音量バーグラフが点滅します。

※ BASS スイッチを再度押すかまたは5秒たつと、スピーカーの音量表示に戻ります。

※ 過大な出力をすると、スピーカー保護のため自動的に音量をしぼる事があります。

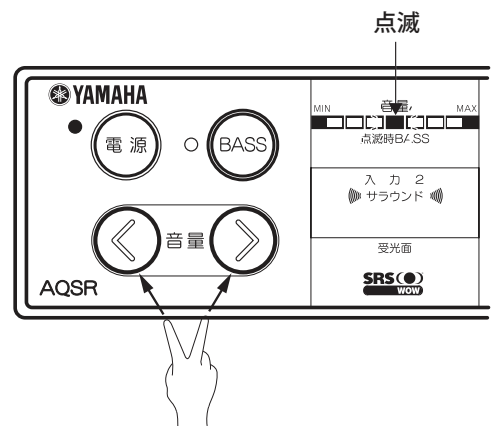


### ●L/Rバランスを調節するとき

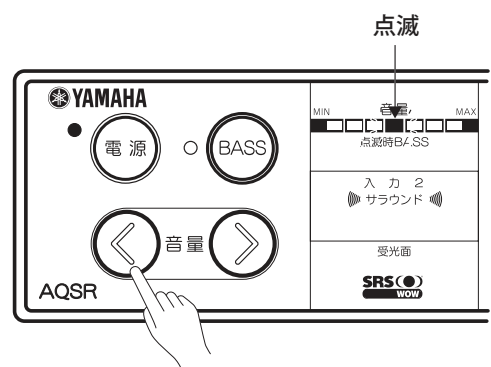
1 ◀ と ▶ スイッチを同時に押します。

➔ バランスモードになります。バランスモード中は音量バーグラフが1箇所だけ点滅します。

※ 何もスイッチ操作がない場合は、5秒後に通常モードに戻ります。



2 ◀ または ▶ スイッチを押してL/Rバランスを決めます。



**■ サラウンド機能**

スイッチを押すとリモコン中央に「サラウンド」表示が点灯しサラウンド機能がONになります。


**■ 入力1(標準)と入力2(オプション)の切り替え**

オプションの入出力ボックスを増設した時は、入力切り替えスイッチを押し入力2にすることで、オプションの入出力ボックスからの入力に切り替えることが可能です。

入力2を選択中の時は中央表示窓に「入力2」と表示されます。

(入力1の時は何も表示されません)

**■ 設定を初期状態に戻したいとき**

電源を切った状態で、スイッチを押しながら電源スイッチを押します。

スピーカー、ウーファー音量、L/Rバランストーンコントロールなどが全て初期状態に戻ります。

※ 学習記憶の内容はそのまま残ります。

※ アクアソニックRをご使用になった後は、電源スイッチを押して電源を切ってください。

電源を切り忘れた場合は、最後の操作から90分後に切り忘れ防止機能が働いて電源が切れます。

※ オーディオ機器の電源も忘れずに切ってください。

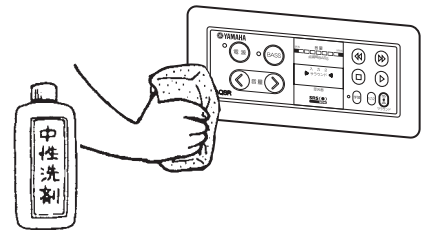
## 7. お手入れ方法

### リモコンのお手入れ方法

- 通常は、水洗いをしてから柔らかい布またはスポンジで拭き取ってください。
- 汚れが目立つ場合は中性洗剤で汚れを落とし、軽く水洗いをしてください。  
洗剤で洗浄後は、柔らかい布またはスポンジで拭き取ってください。  
(クレンザーなどの研磨剤入りのものは、使用しないでください。)

### スピーカーのお手入れ方法

- グリルは中性洗剤で汚れを落とし、洗浄後は洗剤を水で洗い流してください。
- バッフルは柔らかい布で乾拭きしてください。



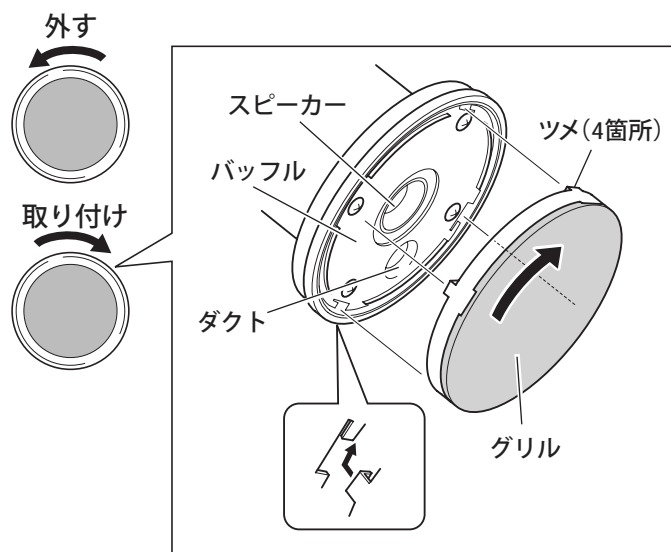
※ お手入れの際には、スピーカーに洗剤がかからないようにしてください。スピーカーが変色したり、機能に障害が出る場合があります。万一かかってしまった場合には、水で軽く洗い流してください。

※ ダクトの中には水や物を入れないでください。故障の原因となります。

### グリルの取り外し


グリルを左に回転させると外れます。

取り付ける時は、グリルの裏にツメ(4箇所)があります。スピーカー本体のツメ受け部に合うように向きを確認し、時計方向に回転させながらはめ込んでください。




## お手入れの際の注意


### 注意

-  お手入れの際にタワシ・ブラシ・研磨剤入り洗剤を使用しない。  
すり傷がついたり、光沢が落ちることがあります。


---

-  お手入れの際にシンナー・ベンゼン・アセトンなどの溶剤を使用しない。  
プラスチックの部分が溶けることがあります。


---

-  お手入れに洗剤を使用する場合は、必ず中性洗剤を使用する。  
酸・アルカリ洗剤、カビ取り剤・漂白剤などの塩素系の洗剤を使用しますと、変色や金属部分が腐食することがあります。

---

-  お手入れの際には、スピーカーに洗剤がかからないようにする。  
スピーカーが変色したり、機能に障害が出るすることがあります。  
万一洗剤がかかってしまった場合には、水で軽く落としてください。

---

-  スピーカーをお手入れする際に、ダクトの中に水を入れない。  
洗剤などを水で流す場合は、ダクトの中に水が入ることがないように気を付けてください。  
故障の原因になります。

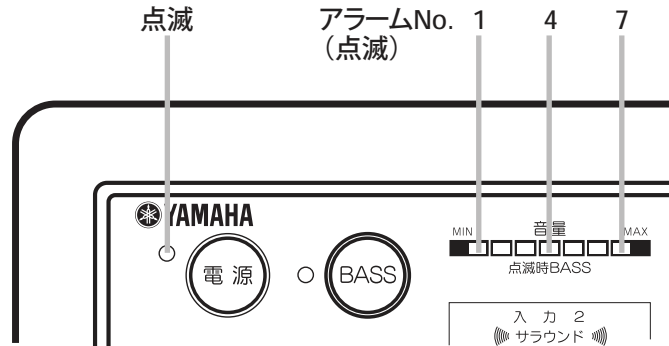
## 8. 異常かなと思ったら

商品に異常が生じたときは次の点をお調べになってから、お買い上げの販売店、または裏表紙のお客様相談窓口にご相談ください。異常は、故障とは限りません。

現象	原因	処置方法	記載ページ
電源スイッチを入れても、電源ランプが点灯しない。	停電またはブレーカーが落ちている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再通電されるまでお待ちください。</li> <li>●ブレーカーのスイッチを入れてください。</li> </ul>	
電源ランプは点灯するが、オーディオ機器を手動で再生しても音が出ない。	オーディオ機器と入出力ボックス間のオーディオ入力コードが外れている。	オーディオ機器と入出力ボックスを、付属のオーディオ入力コードで正しく接続してください。	→8ページ
	オーディオ入力コードとリモコン出力コードが逆に接続されている。	オーディオ入力コードを左、リモコン出力コードを右のジャックに正しく接続してください。	
電源ランプは点灯するが、浴室リモコンからオーディオ機器を操作できない。(オーディオ機器を手動で再生すれば音が出る)	オーディオ機器が赤外線コントロール対応機種ではない。	音量操作のみでお聴きください。	
	リモコン出力コードが入出力ボックスに正しく接続されていない。	リモコン出力コードを正しく入出力ボックスに接続してください。	→9ページ
	リモコン出力コードからの赤外線信号が、オーディオ機器の赤外線受光面にうまく当たっていない。	リモコン出力コード先端部の発光面を、オーディオ機器の赤外線受光面に正しく向けてください。	→9ページ
	オーディオ機器のリモコン信号が、うまく学習記憶されていない。	学習記憶を正しくやりなおしてください。	→10ページ
音楽を再生中に急に音が出なくなる。	90分停止タイマー装置が働いた。(電源ランプ消灯)	電源スイッチを入れ直してください。	
	その他の異常防止回路が働いた。	お買い求めの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。	
片方のスピーカーから音が出ない。	モノラルオーディオ機器(例:ラジオ、ラジカセ等)を接続している。	市販のモノラル↔ステレオ変換プラグをオーディオ機器とオーディオ入力コードの間につける。	→8ページ
	オーディオ入力コードプラグの接触不良。	入力プラグを抜き差ししてみる。	
音楽を再生中自動的に音量がしぼられる。	スピーカー保護回路の作動。	過大出力です。総音量もしくはウーファアの音量を少し下げてください。	→17ページ
音量が小さい。音がひずむ。(ヘッドホン端子やイヤホン端子からの入力時)	オーディオ機器の音量設定が不適切。	音量が小さい:オーディオ機器のボリュームを上げる。 音がひずむ:オーディオ機器のボリュームを下げる。	→8ページ

# 9. 故障診断アラーム一覧表

アクアソニックRに異常が発生した場合、浴室リモコンの電源ランプと音量バーグラフが点滅して原因をお知らせすることがあります。



アラームNo.	原因	解除方法	処置方法
1	出力ショート またはDC出力		販売店またはお客様相談窓口 に修理をご依頼ください。
4	通信エラー		
7	リモコン学習エラー	5秒後に自然復帰	何回も異常が出るときはオー ディオ機器の機種を替えてみて ください。

# 10. 保証とアフターサービス

## 修理を依頼される時

保証の範囲と保証期間は、27ページの保証書を参照してください。

## 補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年間保有しております。

販売店からの注文により供給します。

(性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。)

## 修理の際の連絡先

この取扱説明書をよくお読みの上再度点検していただき、異常があるときはお買い上げの販売店または裏表紙のお客様相談窓口までお申し出ください。

■ お買い上げの販売店名と連絡方法は、裏表紙便利メモに記入しておくとう便利です。

## 修理を依頼される時に、ご連絡いただきたい内容

- ご住所    ■ ご氏名    ■ 電話番号
- 商品名：アクアソニックR    ■ ご購入日
- 故障内容(どこの、何が、どのようになったか)
- 訪問ご希望日(ご都合の悪い日も合わせてご連絡ください)



# 11. 主な仕様

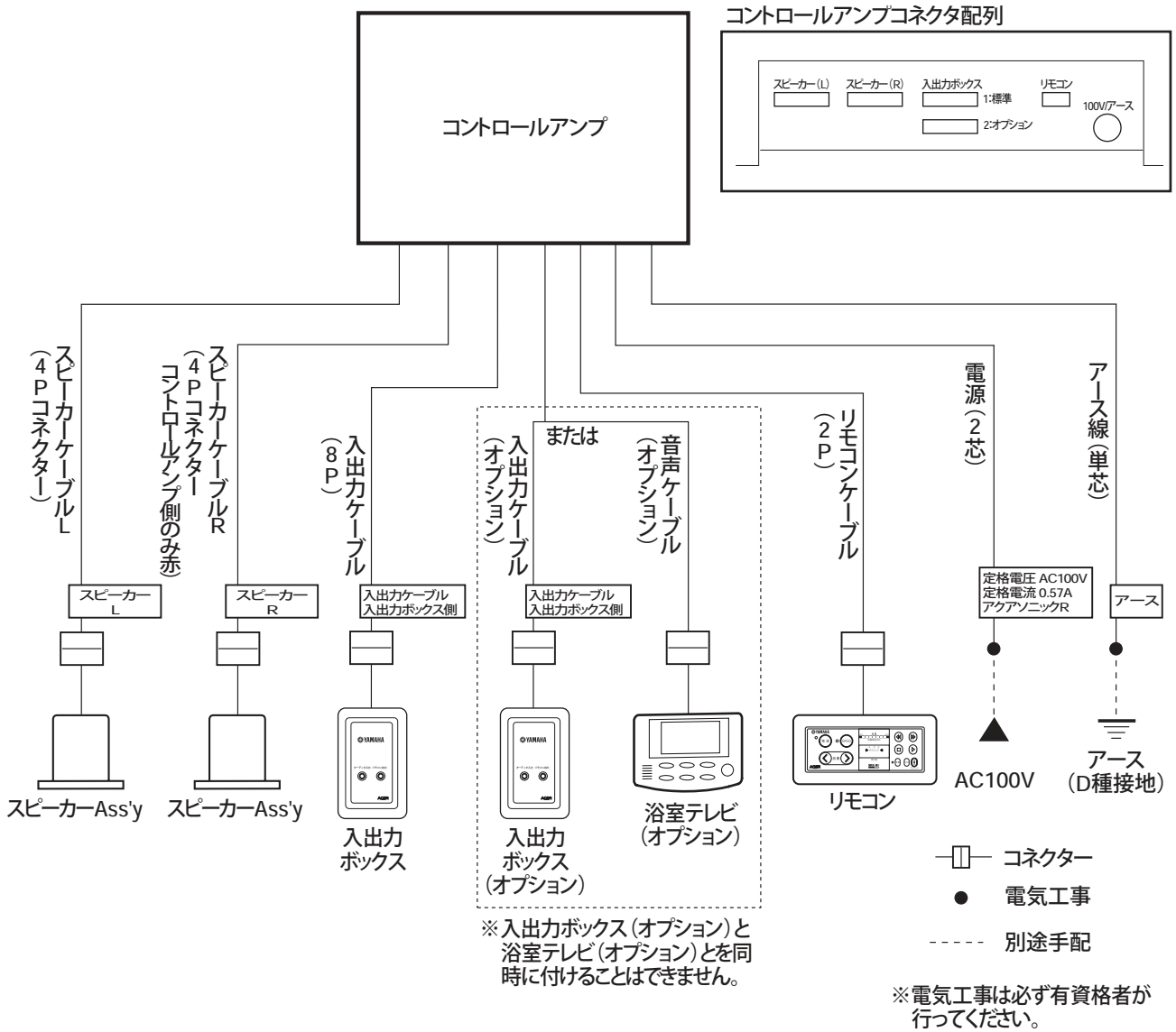
アンプ部(実用最大出力)：	
L/Rチャンネル用	4W×2
ウーファー用	6W×1
発音部：	
中高音用スピーカー	48mm×2(防水型)
ウーファー	48mm×2(防水型)
入出力部：	
ステレオ入力端子	ステレオミニジャック
入力レベル	150mV～2V
リモコン出力コード出力端子	ミニジャック
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大52W
最大外形寸法：	
コントロールアンプ	310×250×50mm
浴室リモコン	96×196×21mm
入出力ボックス	75×124×10mm(壁表面部)
コントロールアンプ重量	2.6Kg
付属品：	
オーディオ入力コード 3m	1本
リモコン出力コード 3m	1本
取扱説明書兼保証書(本書)	1冊
安全装置：	
電流ヒューズ、スピーカー短絡検知回路、アンプ熱保護回路、切り忘れ防止装置	

 はSRS Labs, Inc. の商標です。

WOW技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

# 12. アクアソニックR電気結線図

●コントロールアンプは原則的にシステムバスの天井裏に設置されております。



# 保証書

当社は、当該製品に関して、無料修理規定に則り無料修理を行うことをお約束します。保証期間中に故障・損傷などの不具合(以下「不具合」といいます)が発生した場合には、お買い上げ販売店に修理をご依頼ください。その際に本書をご提示ください。

なお、保証書が別途添付されている部品・製品は、その保証書にしたがいます。

本書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

商品名 (または品番)	アクアソニックR	保証期間	お引渡し日から1ヵ年			
※お客様	ふりがな ご芳名	※お引渡し日	西暦	年	月	日
	ご住所 〒	※販売店	店名			
	お電話 ( )		住所			
			電話 ( )			

(※印欄は必ずご記入ください。)

## 無料修理規定

### 1. 保証期間

施工者様よりの商品の引渡し日から起算した期間をいいます。引渡し日とは、

- ・改修工事の場合、引渡し日は改修部分の工事完了の日とします。
- ・分譲住宅(建売住宅)、分譲及び賃貸マンションの場合、引渡し日は建築物が建築主様へ引き渡された日とします。

### 2. 保証内容

取扱説明書(ご愛用のしおり)、ラベルなどの注意書きにしたがった正しい使い方での不具合が発生した場合、保証期間内は無料で修理いたします。

### 3. 免責事項

次の事項に該当する場合は、免責とさせていただきます。保証期間内でも、次のような場合には有料となります。

- ①住宅用途以外で使用した場合の不具合または住宅用途と異なる使用方法による場合の不具合  
(例えば、業務用としての使用、車両・船舶の備品としての使用等)
- ②お客様が適切な使用、維持管理を行わなかったことによる不具合  
(例えば塩素系の洗浄剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用、水道法に定められた水質基準に適合しない水による不具合、お手入れ不足による汚れの付着、カビの発生、扉ヒンジがゆるんだままでの使用による扉の外れ等)
- ③お客様自身による施工または移動(移設)、分解、改造などに起因する不具合
- ④建築躯体、関連設備工事など商品以外の不具合による商品の不具合
- ⑤水垢、赤水(錆)等給水側の供給事情や、配管不備による不具合
- ⑥犬、猫、鳥、鼠などの動物や羽ありなどの昆虫の行為による不具合
- ⑦部品、製品の経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる不具合  
(例えば、塗装品の色あせ、木製品の反り、ひび割れ、変色や樹脂部品の変質、変色等)
- ⑧電球類、パッキン等の消耗部品の消耗に起因する不具合
- ⑨火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害などの天変地異または公害・異常水圧・異常水質・指定以外の電源(電圧・周波数)・塩害・凍結・温泉地域の腐食性空気、その他の異常な外部環境による不具合
- ⑩当社の手配によらない業者の輸送上、加工上、組立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備による不具合  
(例えば、クリーニング業者による指定外のクリーニング剤使用による変色や腐食、工事業者の養生不足による変色や腐食など)

### 4. 特記事項

- ①本書は日本国内においてのみ有効です。ただし、離島及びこれに準じる遠隔地に出張した場合は、出張に要した費用を申し受けます。
- ②本書の提示が無い場合は、保証期間を製造月起算といたします。
- ③本書にお引渡し年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは当社または販売店以外が字句を書き換えられた場合には、保証期間を製造月起算といたします。
- ④ご転居、住宅の譲渡などで、本書に表示されているお客様と所有されているお客様とが異なる場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- ⑤本書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合は、当社お客様相談窓口にご相談ください。

## <修理記録>

年月日	内 容	部品取替	費 用	保証期間	修理員名
年 月 日		有・無	有料・無料	内・外	
年 月 日		有・無	有料・無料	内・外	
年 月 日		有・無	有料・無料	内・外	

※ 本書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または、当社お客様相談窓口にお問合せください。



修理サービスはお買い上げの販売店にご依頼ください。

便利メモ ● おぼえのため、記入されると便利です。

販売店名	☎ ( )	ご購入年月日	年 月 日
最寄りの ご相談窓口	☎ ( )	品番	
		製造番号	

製品についてのご質問、ご相談、あるいはアフターサービスについてのお問い合わせは、お客様ご相談窓口へお寄せください。下記フリーダイヤルで最寄りのお客様センターへつながります。

**お客様相談窓口 ☎ 0120-119-555**

ヤマハリビングテック株式会社

〒432-8001 静岡県浜松市西山町1370

04-01A 732-800-000